

分かる & 快感!

# Z会ナビ

算数

理科

社会

## お題

### 田沼意次の政治はどのようなものだった?

(2021年 大学入学共通テスト 日本史B)



おうちで楽しく!  
プログラミング通信講座、  
Z会にて開講中!

Z会 KOOV 検索

次の内容は、江戸時代に行われた享保の改革と寛政の改革の間の1700年代後半の事柄を書き出したメモと、当時の状況を記した史料の一部を現代語に直したものです。これらを参考に、この時代の状況として正しいものを下のa・bから一つ選びなさい。

#### メモ

- ・幕府の権力を握った人物の名前をとって、田沼時代と呼ばれる。
- ・商人の力を利用する経済政策がとられ、経済が発展した。
- ・西洋の学術が取り入れられ、医学や天文学の研究が進んだ。
- ・百姓一揆や打ち壊しが発生した。

#### 史料

すでに町の人別改も名ばかりのものとなり(中略)農村の人別は大きく減り、関東周辺の村々には荒れ地が多くできている。(中略)天明の午の年に諸国人別改が行われたが、前の子の年より140万人も減ってしまった。この減った人はみな死んでしまったわけではなく、ただ帳外れとなり(中略)また江戸に出て人別に入らずさまよい歩く人になってしまったのである。

(松平定信「宇下人言」)

a この時期には西洋の学問が取り入れられた。諸国人別改で人口が減ったのは、西洋で生まれた思想に基づき幕府を打倒しようと都市の人口が周辺の荒れ地に流出したことが要因の一つと考えられる。

b この時期には商品経済が発展した。諸国人別改で人口が減ったのは、経済の発展に伴って貧富の差が広がり、農村の人口が都市に流出したことが要因の一つと考えられる。

今回は、江戸時代の半ばころの時代の問題です。

江戸時代が始まり100年ほどたつと、江戸幕府は財政難や人口増加・災害への対応などさまざまな問題を抱えるようになりました。そうした問題を



イラスト・瑞木匠

解決するために、将軍や老中(江戸幕府に常設された最高の役職)が主導して政治改革を行いました。有名なものには、八代将軍徳川吉宗が行った享保の改革、老中松平定信が行った寛政の改革、老中水野忠邦が行った天保の改革があります。また、「改革」という名称ではないものの同じく有名なものが、享保の改革と寛政の改革の間に老中田沼意次が主導して行った政治です。今回は、この田沼政治に注目して、見ていきましょう。

#### 田沼時代とは

田沼時代の前の享保の改革では、幕府の財政を立て直すことが重視されました。当時幕府に納められた税は貨幣ではなく米でした。米はその年の収穫状況によって価値が変動します。それにより幕府の財政が不安定になってしまうため、享保の改革では米の価値を安定させるためのさまざまな政策が行われたのです。

一方、そのあとに幕府の主導権を握った田沼意次は、商人の力を使って経済をより発展させることで世の中を豊かにし、商人から税をとることで幕府の財政を立て直す政策を行いました。田沼のこの政策で幕府財政はいったん持ち直しますが、従来の米を中心とした農業を軸とする幕府の体制を大きく変えるものだったこともあり、幕府内から反発が出るようにもなりました。

#### 田沼時代の影響

田沼に反発した人物の一人が、史料の作者で

あり、田沼時代のあとの寛政の改革を主導することになる松平定信です。史料には、農村の人口が減り関東周辺の村々に荒れ地が増えていること、「天明の午の年=1786年」に行われた諸国人別改という幕府による人口調査では前回よりも大幅に人口が減ったことが書かれ、定信はその原因として、住居や職をもたずに農村から江戸に出て、人口を登録する帳簿の記載から外れる人が増えていることを指摘しています。田沼の政策で商品経済が発展したことで貧富の差が広がり、商人以外の農村の民衆は困窮に陥っていたのです。したがって、問題の答えはbとなります。

このような状況の中、不運にも凶作や災害が重なったことで、ますます困窮し不満を高めた人々による一揆や打ち壊しなどの暴動が多発するようになりました。幕府内から田沼への反発もさらに高まり、田沼意次は老中の座から追いやられてしまうのです。(Z会・河原井彩)

#### 今回の教訓

田沼意次は従来の江戸幕府のしくみとは大きくことなる画期的な政策を行いました。物事のさまざまな面に目を向けて考えることが大切です。



河原井彩さん 2007年に入社。中学生向け社会、高校生向け日本史教材の編集を経て、現在は幼児向け教材を担当。新潟県生まれの埼玉育ち。